

第4学年国語科学習指導案

令和4年7月6日（水）第5校時

児童 第4学年1組 31名

授業者 神津 澄佳

令和4年度 研究主題

思考力・判断力・表現力の基盤となる言語能力の育成

～国語科を中心とした言語活動の充実～

1 単元名 題名にこめた作者の思いについて考えよう

教材名 「一つの花」（光村図書 4年上）

2 単元の目標

- ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。〔知識・技能〕（（1）オ）
- ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述をもとに捉えることができる。〔思考力・判断力・表現力等〕（C（1）イ）
- ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。〔思考力・判断力・表現力等〕（C（1）エ）
- ・文書を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。〔思考力・判断力・表現力等〕（C（1）オ）
- ・言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 （（1）オ）	①「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。（C（1）イ） ②「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。（C（1）エ）	①進んで登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題にそって、物語の感想を書こうとしている。

	③「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。感じ方などに違いがあることに気付いている。(C (1) オ)	
--	--	--

4 単元・教材について

(1) 単元について

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年3月告示）、国語〔第3学年及び第4学年〕2内容〔思考力、判断力、表現力等〕C 読むこと（1）

- | | |
|---|---|
| イ | 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。 |
| エ | 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像すること。 |
| オ | 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。 |
| カ | 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。 |

を受けて設定した。この単元を通して身に付けさせたい言語能力は「登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像する力」「課題を設定し、叙述を基に解決する力」「根拠を基に自分の考えを表現する力」である。その力を付けさせるために、本単元では、「C 読むこと」の言語活動例「イ 詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことを伝え合ったりする活動。」を具現化し、「題名にこめた作者の思いについて考えよう」という単元を設定した。毎時間話し合いの活動を取り入れるとともに、題名に込めた作者の思いについて考え、この作品における「一つだけ」「一つ」という言葉の役割について自分の考えをまとめることをゴールとして位置付けた。

「登場人物の気持ちの変化について叙述に沿って読む力」「課題を設定し、叙述を基に解決する力」「根拠を基に自分の考えを表現する力」を身に付けさせるために、場面ごとに叙述を基に読み進めていく。その際、児童が立てた課題から発問することで、児童自身が立場を明確にして考えをもつことができるようにするとともに、叙述を根拠として考えを表現できるよう指導していく。

本単元では「一人読み」を基にして、毎時間話し合いを取り入れていくことにより、登場人物の気持ちを他者との交流から気付かせ、一人一人の読みを深めさせていきたい。また、感じたこと考えたことを児童が互いに理解し、他者の感じ方のよさがあることにも気付かせていきたい。

(2) 教材について

戦争体験が急速に風化し、戦争について知識が少ない4年生の児童にとっても、テーマ性の強い「一つの花」の物語は、人物同士の関係やキーワードを捉えやすく、着目した観点に沿って作品を読み、考えたことを話し合うことに適した教材である。「一つの花」は、ゆみ子に対する両親の思いが、「一つだけ」というキーワードを軸に人物の行動として表現されている。「一つだけ」という言葉の中にある、父母のゆみ子への愛情は何にも代え難いものとして、児童に捉えさせたい。

また、「一つの花」は、対比的な表現が多く使われている。父母を見送りに行く場面では、他の人達の賑やかな見送りの様子と家族の静かな見送りの様子、戦争中と戦争後の場面の状況や人物の様子、一輪のコスモスの花といっぱいの花など、対比的な表現に着目させることによって戦争中と戦争後の暮らしの変化、ゆみ子の家族の様子や両親の気持ちを想像豊かに読ませたい。さらに、互い

の考え方や感じ方の違いに気付く活動を通して物語の見方や感想のもち方をより豊かにさせていきたい。

5 児童の実態

省略

6 単元の指導計画と評価計画（全9時間）

過程	時間	学習目標	学習活動	評価規準 (評価方法)
第一次 見通す	1	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら読み、初発の感想をまとめることができる。	全文を読み、感想を書こう。 1 全文を読む。 2 初発の感想を書く。	イー② 文章の内容を捉えて理解したことを基に、感想や考えをもっている。(ワークシートの分析)
	2	一人読みの仕方が分かり、内容をおおまかに捉えることができる。	一人読みをして、読みの課題を考えよう。 1 一人読みの仕方を知る。 2 みんなで話し合いたい言葉や表現について探し出す。	イー② 特別な言葉に着目して読み、内容を捉えている。(発言、ワークシート)
	3	文章中の気になる言葉や表現に着目させ、言葉のもつ意味や表現方法について考えることができる。	課題解決に向けて、気になる言葉や表現について話し合おう。 1 気になる言葉や表現について探し出す。 2 グループごとに気になる言葉や表現について出し合い、解決できるものはする。	アー① 気になる言葉や表現について出し合い、その言葉について考えている。(発言、ワークシート)
第二次 捉える・深める・まとめる	4	1や2-1の場面を読み、登場人物の行動について叙述を基に捉え、母や父の気持ちを想像することができる。	1と2-1の場面を読み、登場人物の行動や気持ちについて考えよう。 1 戦争中の様子について話し合う。 2 ゆみ子の覚えた「一つだけ」という言葉に対する父と母の思いを対比させて考え、話し合う。 3 ゆみ子を高い高いするお父さんの気持ちについて話し合う。	イー① 1や2-1の場面について、父と母のゆみ子に対する思いを読み取っている。(発言、ワークシート)

5	2-2の場面を読み、駅の様子やゆみ子たち家族の様子を対比的に捉え、母や父の気持ちを想像することができる。	2-2の場面を読み、登場人物の行動や気持ちについて考えよう。 1 駅の様子やゆみ子たち家族の様子について話し合う。 2 「まるで戦争になんか行く人ではないかのように」の表現について考える。	イー① 2-2の場面について、駅の様子とゆみ子たち家族の様子を対比させ、父や母の気持ちを読み取っている。(発言、ワークシート)
6 本時	2-3の場面を読み、登場人物の行動について叙述を基に捉え、父の気持ちを想像することができる。	2-3の場面を読み、一つの花にこめたお父さんの思いについて考えよう。 1 「一つだけのお花大事にするんだようー。」というお父さんの言葉にはどのような思いや願いがこめられているのか、という課題について自分の考えをもつ。 2 考えたことをグループで話し合う。 3 一つの花にこめたお父さんの思いについて全体で話し合う。	イー② 2-3の場面について、叙述を基に登場人物の行動を捉え、父の気持ちを想像することができる。(発言、ワークシート)
7	2-3の場面を読み、情景描写に着目させ、作者の思いについて考えることができる。	2-3の場面を読み、情景描写にこめた作者の思いについて考えよう。 1 なぜ作者は「プラットホームのはしっぱの、ごみすて場のようなところに、わすれられたようにさいていた」という表現にしたのかという課題について話し合う。	イー② 情景描写にこめた作者の思いについて考えている。(発言、ワークシート)
8	1～2場面と3場面对比させて読み、登場人物の気持ちや世の中の様子、出来事を読み取ることができる。	3の場面を読み、登場人物の行動や気持ち、世の中の様子について考えよう。 1 「一つだけ」という言葉が3場面には出てこない理由について話し合う。 2 1～2場面と3場面とで対比的に描かれている表現について話し合う。	イー② 1～2場面と3場面对比させて読み、登場人物の気持ちや世の中の様子、出来事を読み取っている。(発言、ワークシート)

第三次 広げる	9	話し合ったことを基に、題名に込めた作者の思いを考えることができる。	題名に込めた作者の思いについて考えよう。 1 題名に込めた作者の思いについて考えたことをワークシートに書く。 2 考えたことをグループで話し合う。 3 この作品における「一つだけ」「一つ」という言葉の役割を考える。	イー③ 題名に込めた作者の思いについて、自分なりの考えをまとめている。(ワークシート)
------------	---	-----------------------------------	---	---

7 研究主題との関連

【児童に身に付けさせたい言語能力】

- ①登場人物の気持ちや性格、情景の変化について叙述に沿って読む力
- ②課題を設定し、叙述を基に解決する力
- ③根拠を基に自分の考えを表現する力

【その言語能力を身に付けさせるために有効な言語活動】

- ①詳しく読んで考えが変わったところを中心に、感想をまとめ、交流する活動を最後に位置付ける。
- ②課題を設定するにあたって、「一人読み」をすすめ、個々の読みを深める。(個人)
- ③読み取りでは毎時間、児童が立てた課題について話し合う活動を行う。(小集団、全体)

【目指す児童像】

- ①言葉や表現を手がかりに、物語の内容を捉えたり登場人物の気持ちを想像したりできる児童
- ②課題について自分の考えをもって話し合い、叙述を基に解決できる児童
- ③根拠を基に自分の思いや考えをもち、友達に伝えることができる児童

8 本時（全9時間中の6時）

(1) 本時の目標

- ・2場面の3を読み、登場人物の行動について叙述を基に捉え、父の気持ちを想像することができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準(評価方法)
導入 7分	1 前時までの振り返りをする。	・ 2 場面②のゆみ子がめちゃくちゃ高い高いをしたお父さんの心情を振り返る。	
	一つの花にこめた、お父さんの思いを考えよう		
	2 2－3の場面を音読する。		
展開	3 『一つだけのお花大事にする	・ 「なぜ一つだけの花をあげたのか」という児童から出された課題を取り上げることで児童が意欲的に	イー② 2－3の場面について、叙述を基に

	んだようー。』と言ったお父さんは「一つだけの花」に例えて、本当は何を大事にしてほしいと言って言ったのか」という課題について話し合う。	考えられるようにする。 ・時、場所の確認をする。 ・父の心情に線を引いたところを確認する。 ・一つの花にこめたお父さんの思いを全体で話し合う。 ・状況によってグループでの話し合いを取り入れ、児童全員が友達に考えを伝えることができるようにする。 ・ただ聞くだけではなく、友達のよいと思ったところはワークシートに書き込むことを伝える。 ・全体の考えが出た時点で、これは違うのではないかというものについて意見を出させる。 ・「この中でお父さんの思いに最も近いのはどれか」と児童の考えを深める発問をする。	登場人物の行動を捉え、父の気持ちを想像することができる。(発言、ワークシート)
まとめ 3分	4 本時のふり返りを書く。 5 次時の見通しをもつ。	・話し合ったことについて、自分の考えを書く。 ・次の時間は3の場面について話し合うことを予告する。	

(3) 板書計画

めあて 一つの花 今西 すけゆき 一つの花にこめた、お父さんの思いを考えよう。	第二場面③の文	お父さんは、「一つだけの花」に例えて本当は何を大事にしてほしいと思っ たのだろうか。 ・コスモスがお父さんのかわり ・自分の命 ・自分の人生、未来 ・ゆみ子に育ってほしい ・平和
--	----------------	---

(4) 授業観察の視点

- ①児童の考えを深めるための発問（補助発問等）は有効だったか。
- ②児童の読む力を高めるために、一人読みのワークシートや本時のワークシートは有効だったか。